

ISEPと関電の需給見通しの差について

	(参考)H23 関電実績	H24		差異
		ISEP見通し	関電見通し	
(単位:万kW) ① 需要	2,784	← 同じ → 2,784	3,030	ISEP: 10%の節電要請を行った2011年実績と同じ。 関電: 2010年の猛暑、2012年の経済状況、定着している節電の効果を前提とした需要見通し。
② 供給力	2,947	← ほぼ → 同じ 2,946	2,535	
原子力	337	0	0	(差異なし)
火力	1,754	1,946	1,923	ISEPは自家発を冬季の実績100万kWにあわせた(昨年夏実績93万kWよりも、今年夏関電想定89万kWよりも多い)。関電火発分は同じ想定。
水力	273	254	← 同じ → 254	(差異なし)
揚水	465	← 同じ → 465	232	分析手法に差はないが、需要と揚水除く供給力の違いにより、差異が生じる。(4/26配布資料2のP9参照)
地熱等	0	9	5	ISEPは、関電予測に「太陽光の10%分を追加」とのこと。関電の5万kWには、住宅用太陽光の余剰供給力(8.2%)、事業用太陽光の余剰供給力(24.6%)は織り込み済み。
融通等	118	121	← 同じ → 121	(差異なし)
追加対策	0	150	0	○節電対策追加 ISEP: 昨夏における東電並みの節電実績▲246(対H23差)が追加可能。 関電: 昨夏から定着した節電分▲102(対H22差)を織り込み(上記需要に織り込み済み)。 ○自家発追加 ISEP: 入札市場で他の電力管内の自家発+150万kWの追加が可能。 関電: 管内の自家発事業者に全て個別協議し追加は困難。 ○他社融通追加 ISEP: 中部、中国、北陸から更に追加で300万kW追加が可能 関電: 中部、中国、北陸と個別協議し、各社から最大限の融通(合計110万kW)を確保。(上記融通に織り込み済み)